

| | | | |
|-----------|-----|---|---|
| コ克蘭 | ラ | 7 | スイス(2), ベルギー, ソ連, 西ドイツ, 東ドイツ, ノルウェー |
| フウラン | 〃 | 8 | スイス(2), 西ドイツ(3), ソ連, 東ドイツ, 南アフリカ |
| ウチョウラン | 〃 | 5 | スイス(2), アメリカ, 西ドイツ, 東ドイツ |
| クロカミラン | 〃 | 2 | スイス, 西ドイツ |
| ガンゼキラン | 〃 | 7 | スイス, 西ドイツ, ベルギー, ソ連, 東ドイツ, オランダ, ポーランド |
| オオバノトンボソウ | 〃 | 4 | 西ドイツ(2), スイス, ノルウェー |
| トキソウ | 〃 | 7 | スイス(2), ベルギー, ソ連, 西ドイツ, フランス, 東ドイツ |
| カシノキラン | 〃 | 5 | スイス, ベルギー, ソ連, 西ドイツ, 東ドイツ |
| カヤラン | 〃 | 8 | スイス, ベルギー, ソ連, 西ドイツ(2), フランス, 東ドイツ, ポーランド |
| ネジバナ | 〃 | 7 | スイス, アメリカ, ベルギー, 西ドイツ(2), 東ドイツ, ポーランド |
| ミクリ | ミクリ | 1 | フランス |

Angelonia gardneri Hook. (ゴマノハグサ科)の枝変わりについて

世羅徹哉・中山長秀*

本種はゴマノハグサ科の半低木植物で、原産地はブラジルであるが、世界各地の暖地ではよく栽培され、ニューギニアなどでは野生状態になっているようである。本種には、花冠が暗青色で、花喉部のみが白色の普通種(図1 a)と、花冠の縁部も白色の品種(図1 b)とがあるが、今回花全体が白色の枝変わりが生じたので報告する。

枝変わりが生じたのは花冠の縁部も白い品種

の株であった。この株はニューギニアから導入され、数年間東京で栽培されていた個体をさし木して殖やしたものである。当園での栽培は温室で鉢植えとし、さし木で更新する一方、花の終わった株は木化した部分まで切り戻して仕立て直してきた。約2年間切り戻しを繰り返した株の約10本の総状花序の内の1本が枝変わりを起こしていた(図1 c)。その後、この花序をつけた枝をさし木し、現在苗を育生中であるがまだ開花していない。しかし、この花序の約30個の花は全て白色であったことから、本種の白花品種が得られたと思われる。

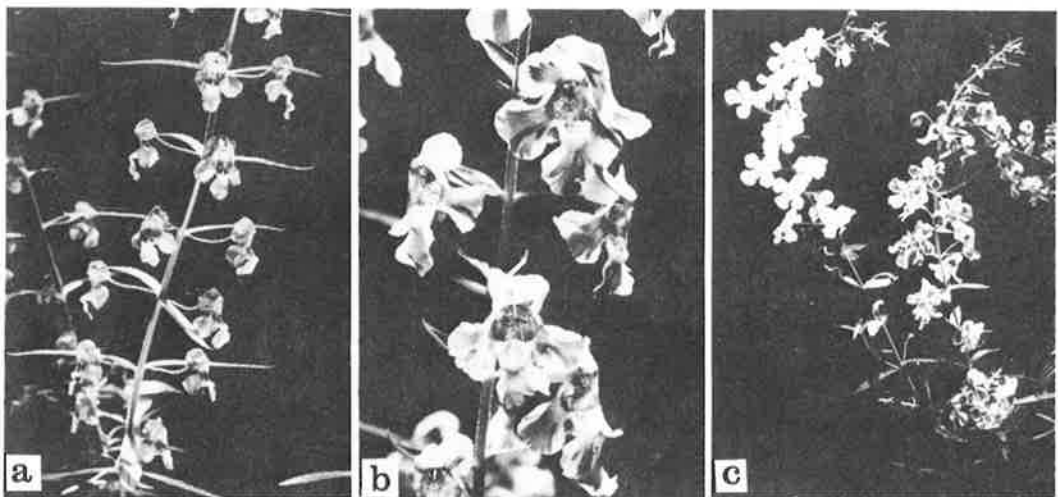


図1. *Angelonia gardneri*

a : 普通種, b : 花冠の縁部も白い品種, c : 花全体が白色の枝変わり(左の花序)

*現所属 経済局農林水産部農業振興課